

# ランナー vol.13

2018年11月



↑HPはこちらから

## 編集長 武藤の巻頭ご挨拶

日中は太陽の光のおかげで暖かく感じますが、朝晩はすっかり寒くなりましたね。朝晩と日中の温度差が大きく、服装に悩んでしまいます。最近、特に朝起きた時にひときわ寒く感じ、布団から出るのが辛くて仕方ありません…。

そもそもなぜ寒いと目覚めにくなるのでしょうか？

人間には体内時計があるとされており、これは24時間より長い周期で動いています。24時間より長いことでずれてしまうのを、太陽の光を浴びることでリセットをかけています。つまり、朝いつもと同じリズムで起きるためには太陽光を浴びてリセットをかけることが大切になってきます。

しかし、これからの季節は日の出時間が遅く、日照時間も短いのでリセットを上手くかけることができません。更に、気温が低いため体温も上がりやすく、目覚めにくくなってしまいます。気温が低いのは日中でも影響してきます。日中、気温が高いと体温も上がりやすく体の覚醒時間が長くなります。この覚醒時間がきちんと確保できていると、睡眠の質はよくなると言われております。しかし、日中も気温があがりにくいこれからの季節は、覚醒時間を確保しづらくなります。これによって、夜きちんと寝ているつもりでも睡眠の質が悪く、寝ても疲れが取れないように感じるそうです。



これからもっと寒くなると思うと、何か対策をしなくては！という気持ちになりますね。私は初めに一番簡単な部屋の温度を上げましたが、まだすっきり目覚めることができません…。やはりよく言われている睡眠の質を上げる必要があるのでしょうか。秋は、夏の暑さによる疲れ等が残っている関係で、「秋バテ」になりやすいです。睡眠の質をあげることができれば、秋バテにならずに元気に過ごせる気がします！



木々も紅葉しつつあり、自然も秋の装いに衣替えを始めています。せっかくの行楽シーズンですので、睡眠の質をあげ、休みの日に朝すっきり目覚め、澄んだ空気の中紅葉狩りに行きたいものです。ご愛読いただいている皆様は、どんな秋を過ごしますか？秋が一番好きという方も多いかと思えます。1年の中でも比較的過ごしやすい秋を精一杯楽しみたいですね！

## わたわたの土のお話

【土のかたち①】 ～肥沃な土 編～

土耕で作物を育てるにあたって、土がどんな特徴を持っているのか、どんな野菜にどんな土が合うのかを知ることがとても大切です。肥沃な土であれば作物はぐんぐん生長し、たくさんの実りをもたらしてくれます。そんな「肥沃な土」である条件の1つに、「水はけがよく、水もちのよい土」ということが挙げられます。水はけと水もち。この2つの特徴は一見正反対のようですが、土においてはこの2つが両立することがあります。



例えば、森の土。鬱蒼とした森ではなく、日の当たる明るい森の中でも表面の土をひっくり返してみると、土が湿っていることがよくあります。雨が降ったわけでもなく、水たまりもありません。足元が濡れるほど水が残っているわけでもありません。これは、排水もしつつ、保水もできる土だから起こる現象です。なぜそんなことが可能なのでしょう？

水はけと水もち、両立の秘密は土の粒のかたちにあります。砂や粘土は土1粒1粒が独立しており、それらがバラバラに集まっています。そのため、土の中の隙間は粒の大きさによって変化します。砂は1粒が大きいと隙間も大きく、粘土は粒も隙間も小さくなり、隙間の大きさは水の抜けやすさに繋がります。

では森の土はどうでしょうか？森の土はふかふかとして、空気をたくさん含んでおり、たくさんの隙間があります。ですので、たくさん雨が降っても水たまりになりにくく、地中に水が浸透していきます。しかし、乾いたように見える表面の土をどかすと、中から湿った土が顔を出します。これは土の粒、1粒1粒が水を蓄えやすい形をしているからです。この形を、お団子のような形から「団粒構造」と言います。

(次回、「団粒構造 編」に続く！)

## 福くんの千葉研究農場トマト便り

先月までのトマト雑学から心機一転し、今月より千葉農場の“今”をお伝えしていく場としてこのコラム記事を書かせて頂く事になりました、千葉農場福島です。11月に入り、朝晩の冷え込みが本格的になってきております。

夏に比べトマトの生育速度もだいぶ緩やかになってまいりましたが、千葉農場では栽培サイクルの中に別棟による育苗を取り入れているため、10月中旬に本圃に入れた苗がすでに可愛らしい実をつけています。育苗トレイからの移植作業は本来労働コストが大きいのですが、千葉農場ではDトレイにて本圃栽培を行っているため、比較的楽に本圃定植を行うことが可能になっております。



本圃内には見ごたえのある大きさのトマトが常に栽培されています。ぜひ見学にいらしてください。



## ズバリその疑問お答えします！

今月も読者の皆様からいただいた疑問に全力でお答えしていきたいと思っております！！



徐々に日没が早くなり、1日の日射量も少なくなってきました。先日、夏前に塗布した屋根の遮熱剤をようやく除去しました。天気予報と相談しながら日にちを決めたのですが、除去するタイミングが遅れたように思います。明確な除去するタイミングはありますか？何か判断基準があれば教えてください。

埼玉県 Kさん

〈回答〉

まずは遮熱剤を使用する目的についてご説明します。



日射レベルが高い夏場には、多くの生産者の方々が遮光カーテンや遮熱剤を用いますが、光の量は植物にとっては問題になりません。『日射によってハウス内に入る熱』が有害となります。遮熱剤はハウス内に入る日射量を減らすことで、同時に熱も抑えることができます。遮熱剤の種類にもよりますが、外気温と比べて3～5℃程度ハウス内の温度を下げると言われております。

次に植物の性質についてですが、光合成の最適温度は一般的に18～20℃と言われており、これ以上温度が上昇しても光合成速度は増大しません。さらに温度が上昇し続けると植物に害が生じ、35～40℃以上では、光合成は非常に低いレベルになります。

これらのことから、栽培者の方々には気象データを確認していただき、昼間の外気温が低くなり温室内の温度も20～25℃程度（作物にとっての適温範囲）で推移するようになったら、遮熱剤の除去に取り掛かってほしいと思います。

ただし、温度は1つの判断材料でしかありませんので、実際にハウス内で作業される方の熱中症や、作物の品質など総合的に判断していただければと思います。

◇参考文献

コンピュータによる温室環境の制御, 誠文堂新光社, 2004.



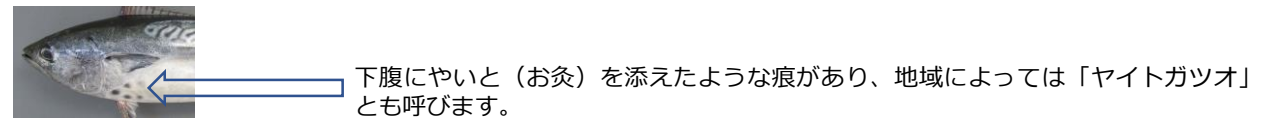
日頃疑問に思っていることや、興味のあることがございましたら営業事業部までドシドシご連絡ください！できる限りお答えしていきます！！



おーみんの知ってほしい！養殖魚の話

ご当地養殖魚の第3弾！  
今回ご紹介するのは、魚類養殖生産量日本一の愛媛県が誇る養殖スマ、「伊予の媛貴海（ひめたかみ）」です。

まずスマとは、見た目だけ説明すると、顔はクロマグロ似、背鰭はカツオ似、背中マサバ似のお魚です。味は、「全身がトロ」といわれるほど美味しい高級魚ですが、大きな群れを作らないことから捕獲が非常に難しく、以前は“幻の魚”とまで言われていました。



しかしほんの2年前、幻の魚スマの完全養殖が愛媛県で成功したため、資源減少が叫ばれているマグロに代わる存在として、さらに注目が高まっています。愛媛県は、この養殖スマの中でも「重さ2.5kg以上」「脂の含有率25%以上」といった厳格な規格基準をクリアしたものをブランド魚とし、「希少性が極めて高い愛媛の貴重な海の恵み」であることから「伊予の媛貴海」と名付けて出荷しています。

私もそのうちお目にかかりたい魚の一つです☆

【引用元】  
[https://www.zukan-bouz.com/public\\_image/Fish/105/Thumb630/suma.jpg](https://www.zukan-bouz.com/public_image/Fish/105/Thumb630/suma.jpg)

ゆうさんの水産豆知識

水族館豆知識 Part11

第11回目は、タツノ…についてです。タツノ…ってなんだって思いますよね。前回のタツノオトシゴのほかにもタツノとつく生物がいるのをご存知でしょうか。それが、タツノイトコとタツノハトコです。ふざけた名前だと思いますが、れっきとした和名です。



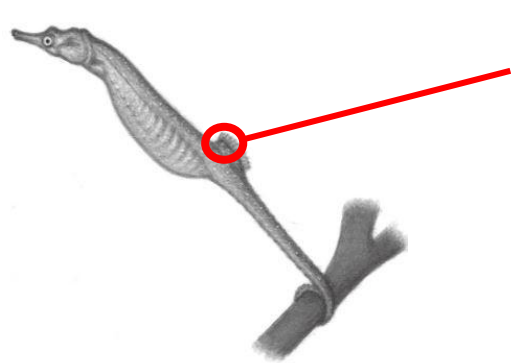
タツノイトコ



タツノハトコ

両者とも、トゲウオ目 ヨウジウオ亜目 ヨウジウオ科 ヨウジウオ亜科に分類される魚類です。生息地は、タツノイトコが房総半島より南の海、タツノハトコが沖縄近海です。

両者とも海中では、海藻などに擬態して生息しています。見た目では見分けがつかない両者ですが、唯一の見分け方があります。



それは、背鰭基底の盛り上がりの有無です。  
この部分がポコッとなっているのがイトコです。見分けるのはかなり難しいです。その上擬態して見つけるのも難しいなんて…

煩わしい魚ですね。



かわむーの栽培お役立ちコーナー

11月～1月の予報

栽培ワンポイント

1日の日照時間が短くなり、朝夕の冷え込みが強くなってきました。皆様、体調管理にはお気を付けてください。11月からの向こう3カ月の気温は、北日本は平年並みか高く、東日本と西日本、沖縄・奄美は高い予報です。降水量は全国的にほぼ平年並みになりそうです。

日中と後夜半は換気窓を開放して温度を下げ、早朝加温と夕方加温を行う「変温管理」が有効です。昼の温度が低すぎる場合は開ける幅を狭め、換気扇と循環扇を有効活用しましょう。イチゴ栽培では日の出直前から2時間程度の二酸化炭素施用を開始します。循環扇で空気の流れを作ると効果が高まります。



気象庁「3か月の平均気温・降水量」「月別の平均気温・降水量」を加工して作成

平均気温

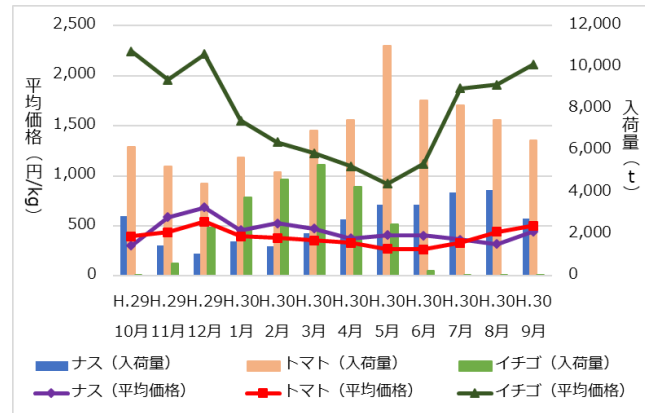
地域	平均気温			
	11月～1月	11月	12月	1月
北日本	平年並みか 高い	平年並みか 高い	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み
	高い	高い	平年並みか 高い	平年並みか 高い
東日本	高い	高い	高い	高い
	高い	高い	高い	高い
西日本	高い	高い	高い	高い
	高い	高い	高い	高い
沖縄・奄美	高い	高い	高い	高い

降水量

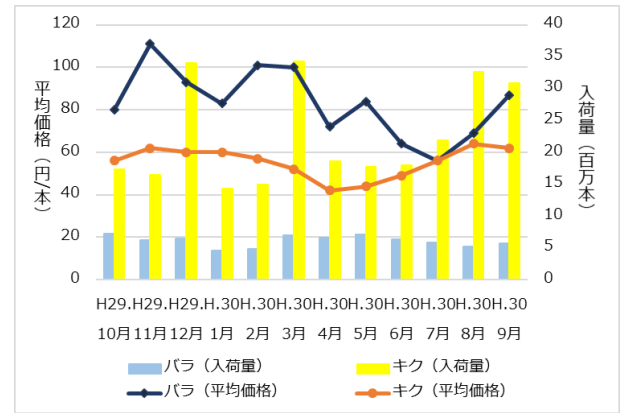
地域		降水量			
		11月～1月	11月	12月	1月
北日本	日本海側	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み
	太平洋側	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み
東日本	日本海側	平年並みか 少ない	ほぼ 平年並み	平年並みか 少ない	平年並みか 少ない
	太平洋側	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み
西日本	日本海側	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み
	太平洋側	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み
沖縄・奄美		ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み	ほぼ 平年並み

東京都中央卸売市場より、作成

トマト・イチゴ・ナスの平均価格と入荷量



キク・バラの平均価格と入荷量



ランナー vol.13 2018年11月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 営業事業部  
〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8  
[TEL] 0532-54-6521 [FAX]0532-57-1751 [E-mail]mail.magazine@daisen.co.jp [登録]



※メールマガジン配信希望の方は、右にありますQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。